

うつのみやまちづくり市民会議 第1回合同会議 議事録

会議の名称	市民会議（第1回合同会議（第3回全体会） 都市基盤分科会）
開催日時	平成18年10月11日（水）午後6時から8時
開催場所	宇都宮市役所 14階 大会議室
出席者	（市民委員）岡本会長，森田副会長，稲葉委員，加藤委員，酒井委員，佐瀬委員，森本委員，渡辺委員，（欠席 吉川委員） （庁内部会）土木管理課 荻原主査，総合政策部 入江主査，地域政策室 前原室長補佐，駅東口整備推進室 芳賀室長補佐，交通政策課 南木課長補佐，LRT導入推進室 吉川室長補佐，観光交流課 板倉主査，公園緑地課 山本課長補佐，宇梶係長 （市事務局）
会議内容	・重点課題に関する意見交換 ・提案予定事業に関する意見交換
会議資料	1. 重点課題対応シート 2. 施策事業提案
発言者	発言内容
市	（重点課題に関する意見交換） 庁内部会の検討結果説明（省略）
市民委員	市民分科会の検討結果説明（省略）
市民委員	都市機能の適切な分担ということは，市民レベルで考えて判断しづらい。インターパークは物流ということで計画されたが，商業が集積している。機能の分担といいながら適切な政策ツールがないのではないかな。 もっとも優先順位の高い課題として，45万都市の顔としては駅前がさびしいことをあげた。西口は動線が混乱している。ホームが長いので，北口，南口を整備したらどうか。
市	宇都宮駅周辺は交通結節点の拠点，二荒山神社周辺はセンターコアと位置づけ，顔づくりを進めている。 釜川プロムナードの活用は我々も問題意識を持っている。二層式河川として整備したが，使われていない。市民組織で遊歩道の再利用の検討が行われており，その一環として釜川プロムナード文化市が行われている。 西口については景観計画を策定し，景観条例の制定を検討している。3月議会に条例を提出する予定である。

市民委員	LRT は決まったような印象を与えるが、実際どうなのか。
市	新交通システムについては平成 5 年から検討している。今年度「導入課題検討委員会」を設置し、導入される場合の課題の整理と解決策を検討している所である。既に 2 回開催し、第 3 回は 11 月下旬を予定している。
市	バスサービスレベルが低いのは共通認識である。国、県、市の補助金で維持している。しかし、これでも周辺に比べれば充実している。大通りは 1 分間に 1 台走っている状況であるが、全域で見ると格差がある。運行頻度が下がると乗降客も低下する悪循環になっている。全体的なネットワークで捉えないと解決できない問題である。
市民委員	新交通 1 本だけでは解決しないだろう。
市	現状ではバスは充実しているようであるが、使いにくい。多くのバスがあるが、どのバスがいいか識別しづらい。LRT だけでなく、バス、乗合タクシーなどと組み合わせて考えるべきである。
市民委員	JR 西口の現状は目の上のたんこぶである。西口駅前広場及びその周辺整備が重要課題である。東西につながる北口、南口を考えて欲しい。東口にはコンベンション機能を設けることが有効であろう。西口には具体的計画はあるのか。
市	西口は重要課題だと認識している。一つひとつクリアしてやっていきたい。
市民委員	大谷の活性化をすべきである。
市	観光交流課はハード的な整備は持っていないが、大谷については、平成 16 年 3 月に「大谷観光推進基本計画」を策定した。大谷石の景観は今年 7 月に国の名勝指定を受け、活性化の機運醸成に貢献している。景観条例については、大谷も対象にと考えている。石切跡は産業遺産としても重要ではないかと考えている。
市民委員	中心部には若者がたむろしている。中心部の活性化には笑いの施設やライブハウスなど若者を引き込むものが必要ではないかと考えている。また、自転車をもっと有効に活用すべきではないか。
市	二荒山隣接地の再開発ビルの 5, 6 F は市が取得する予定であり、笑いやライブなどを行える多目的スペースを予定している。また、109 跡地は

	拠点広場とし、ステージを設け、各種イベントに活用していきたい。
市	自転車の利用推進も重要である。自転車道の整備，駐輪場の整備，レンタサイクルの推進を行っている。専用道路は難しいので，ペイントで識別するようにしている。ネットワーク化を図り，自転車道路地図を作成したい。マナーについては地道であるが，高校と相談しながら，１年以上にわたって街頭指導をしている。
市民委員	本日の議論で，市役所の皆さんには行政と市民の視点が違うことを認識しておいて欲しい。表裏一体であり，手をつないで一緒に考えて頂きたい。合理的な土地利用というが，それができていないから交通問題が発生している。どうやったらうまくいくか，方法論について踏み込んで議論して欲しい。
市民委員	(施策事業提案) 駅東口整備推進室があるのであれば，駅西口整備推進室を作って欲しい。
市	大谷石は宇都宮市のオンリーワンなので，この提案を参考にしたい。新駅については JR と交渉を進めている。請願駅なので全額地元負担となる。また採算性も保証しないといけない。継続的に考えないといけない。
市	東口の景観整備は事業レベルで検討している。景観規制を行う予定である。
市	ソウル市の中央レーンのしくみは我々も関心を持っている。どの交通手段を使ってもサービスレベルをあげて，使いやすいシステムにしている。バスシステムだけでなく，地域全体で総合的にやっている。
市	LR Tの市民への理解を促すために，「LR Tがまちを変える」というパンフレットを作成した。行政がやっていることに無関心な市民が多い。どうして導入を考えているのか伝えるようにしている。来年，市民懇談会を立ち上げようと考えている。全体のネットワークをどうやるのか考えたい。また，沿道ぞいの商店街での説明会も開始した。来年度は全域に拡大したい。
市	おもてなし日本一という標語を普及させている。おもてなしブックを作成し，タクシー，バスの運転手のマナーの改善，市民一人ひとりの意識改革を図っていきたい。
市	八幡山公園については S 63 から H 10 に再整備計画を実施し，広場などの

事務局	ハード面の整備は完了した。現在は休日で 1,100 人の利用があるようだ。静かな環境であることが評価されている一方で、賑わいがない、ひきつけるものがないとの指摘もある。満足度をあげていきたい。夜間開場は現状では難しい。指定管理者制度については、大きな公園から開始したい。 課題認識については共有部分が多かったと思う。宇都宮市の総合計画は 2 本あるのではなく、1 本であるので、市民のアイデアも検討いただき、今後とも引き続きお互いに情報を共有化し、すばらしい計画をつくっていければと考えている。
-----	---